



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 成人式特集（アンケートから）… 2・3
- “ （座談会から） …… 4・5
- 第19回町民運動会 …… 6・7
- まちの話題 …… 10・11
- みんなのひろば …… 12・13



広報

はたち
いま 20歳!
今年の新成人は65人

成人式が8月15日有鄰館で行われました。今年はいままでで最も少ない男子39、女子26の計65人が対象で、このうち男子32、女子21の計53人が出席しました。式典では成人者を代表して畠山繁光くんが、「毎日を進歩なく過ごさず、自己を厳しく見つめながら一步一步着実に歩んでいきたい」と、誓いのことばを述べました。
（関連記事2～5面）

9月

いがしゆり

No. 390

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）



成人式を迎え、今、若者たちは生れ育った東由利町をどのように見つめているのでしょうか…(写真・町成人式会)

● 成人式特集 ●

アンケートから

町づくりへの要望ナンバーワンは

観光開発とレジャー施設整備

今年の成人者は六十五人と過去最低の人数でしたが、出席した五十三人には、それぞれに社会人としての自覚と意欲が満ちあふれていました。

この若者たちが、町の担い手として明日の東由利町を築いていくわけですが、成人を迎えた今、生れ育った東由利町をどのように見つめているのか、成人式に出席した全員を対象に『新成人の意識調査』(アンケート)を行うとともに、新成人の中から男女五人にお集りをいただき、調査の結果をふまえながら、町への意見・要望などについてホッペを語っていただきましたのでご紹介します。

農業従事者は一人だけ

アンケートは、成人式終了後の「交流研修会」の席をお借りし、出席者全員を対象に行いました。このため、回収率は一〇〇％でした。

まず、職業別では、学歴社会を反映し八人が学生、会社員十

人、技術士九人、事務員七人、

運転手二人、公務員二人、団体

職員、製造業、サービス業、販

売員、建設業が各一人、その他

九人で、農業従事者は一人だけ

と、農業の町としては意外な数字でした。

55パーが現在町内に居住

現在の居住地は、町内が五五割、県内が七割、県外が三八割で、町内では男子二十三、女子六人と女子が少ないのに対し、

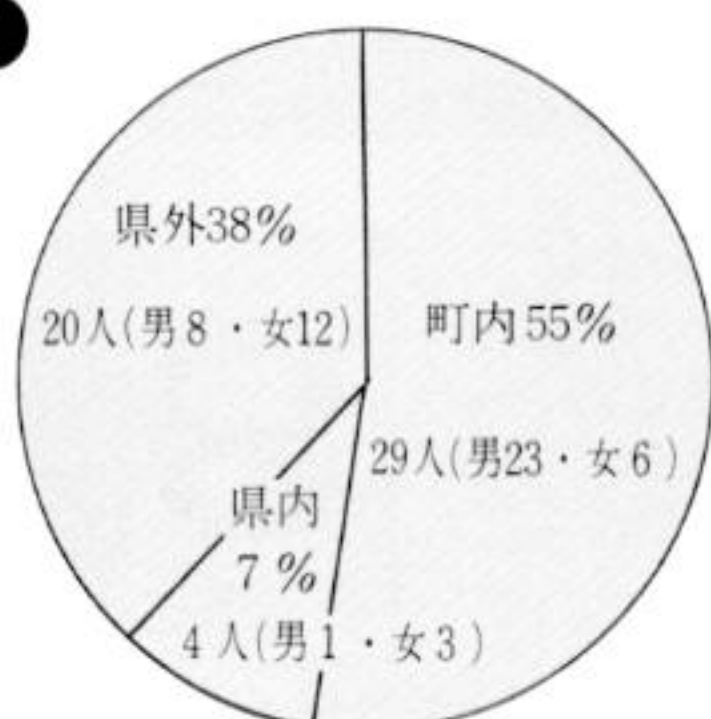
と女子が多くなっています。また、県外に居住の女子の大半は神奈川、千葉など関東方面であることから、女子の都会指向が伺われます。

県内・外の居住者にはUターンの願望も?

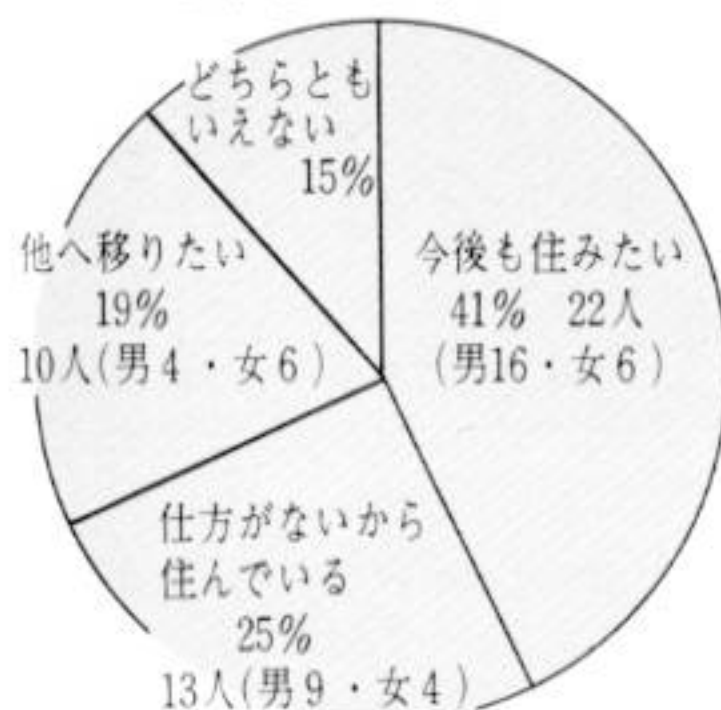
現在住んでいるところについては四一割が「今後も住みたい」

と答え、「仕方がないから…」が二五割、「他へ移りたい」が

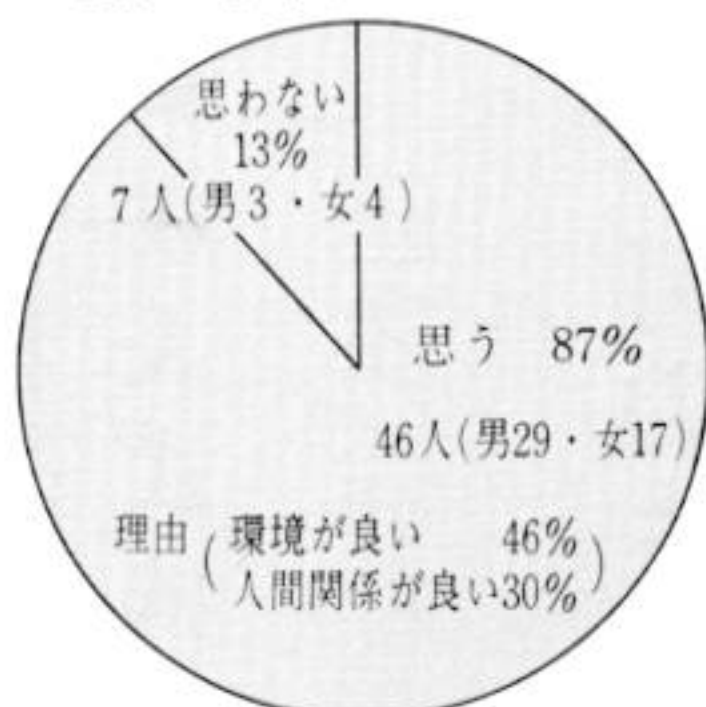
●現在の居住地は



●現在住んでいるところをどう思いますか



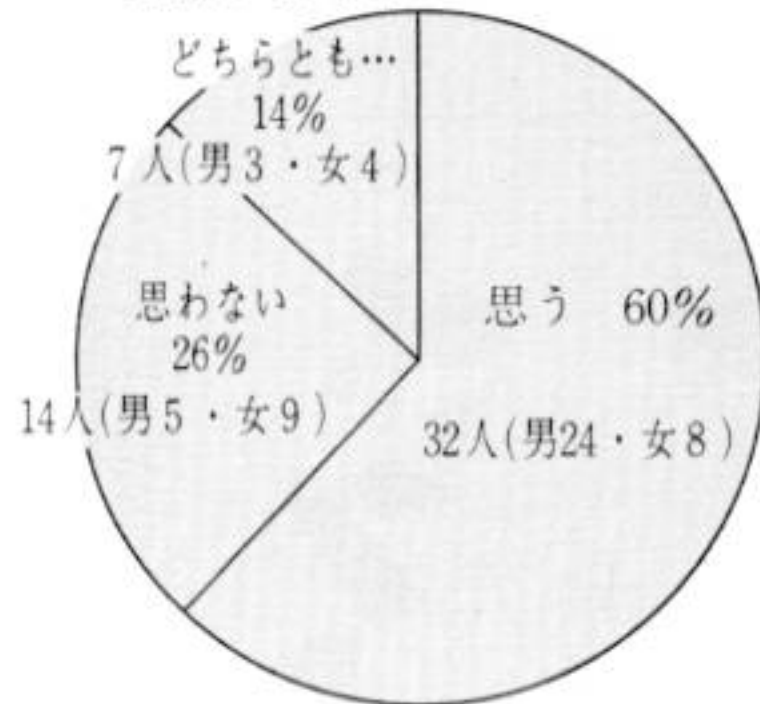
●東由利町に生れてよかった
と思いますか



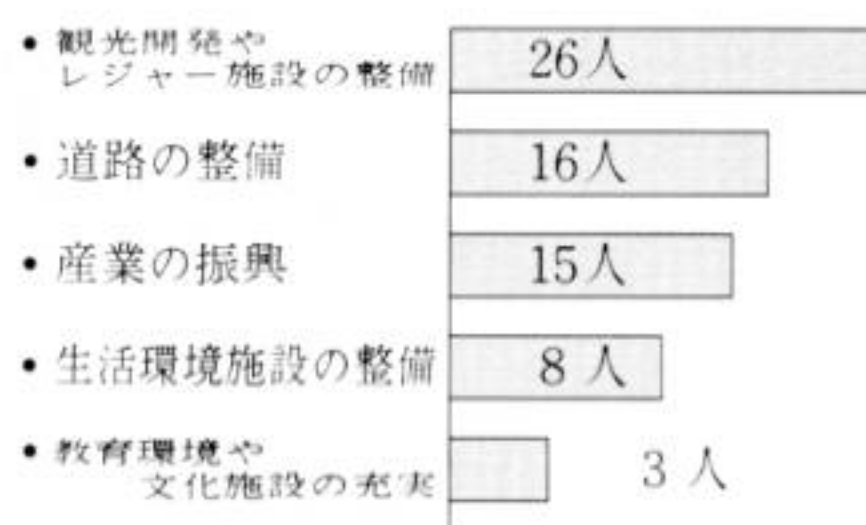
「この町に生れて
よかった」は

87%

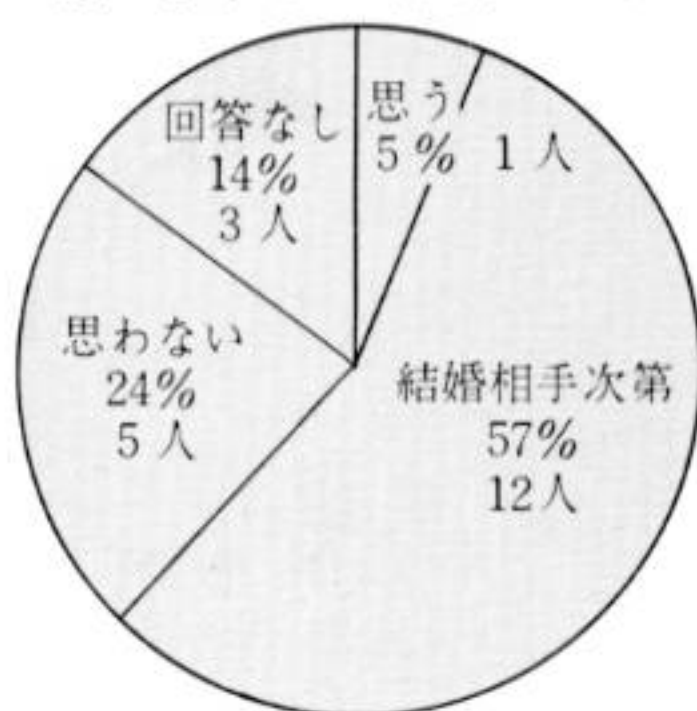
●将来東由利町に住んでいたい
と思いますか



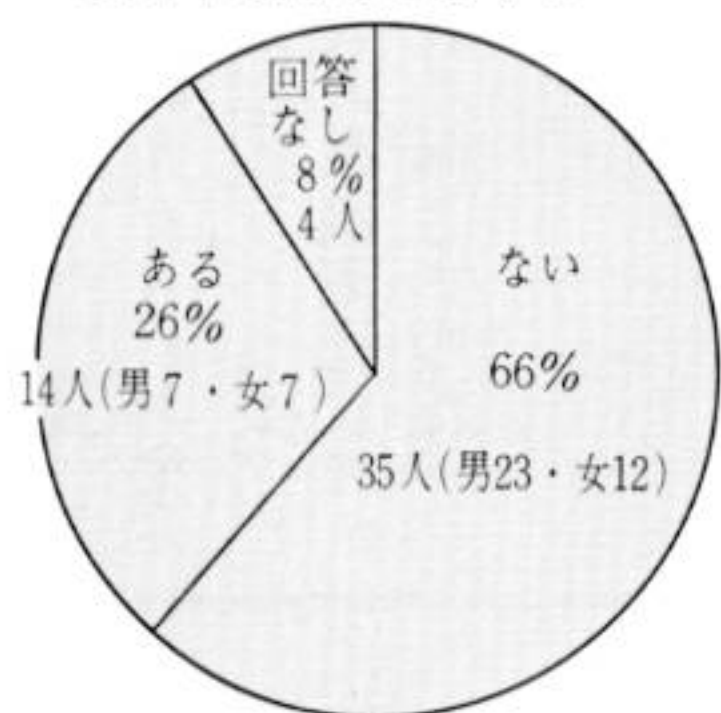
●今後の町づくりに望むことは何ですか



●東由利町に嫁いでもいいと
思いますか (女子のみ)



●将来結婚相手を見つけるこ
とに不安はありますか



将来東由利町に住んでいたい
と答えた人は、男子二十四人、
女子八人の六〇％で、理由とし
て九人が「東由利町が好きだか
ら」、十一人が「後継者だから」、
四人が「環境が良いから」、三
人が「都会は嫌だから」などと
答えています。また、住みたく

「今後も住みたい」は60%

東由利町に生れて良かったと
答えた人は、男子二十九人、女
子十七人の八七％で、その理由
として四六％が「環境が良い」、
三〇％が「人間関係が良い」と
答えています。
良くないと答えた一三％の理



環境や人間関係で、87％が
東由利町での生れを満足

一九％、「どちらとも...」が一
五％でした。
居住別では町内在住者の五〇
％が「今後も住みたい」と答え
ているのに対して、県内・外で
は三二％と少なくなっています。
また、県内・外のうち四〇％が

「仕方がないから...」、「他へ
移りたい」と答えており、二八
％が「どちらともいえない」と
答えていることから、Ｕターン
願望を持つ人がいることも伺わ
れます。

結婚相手を見つけることの不安
の有無では、全体で六二％が
不安はないと答えています。し
かしながら、二六％(男子七人、
女子七人)が「不安あり」と答え、
理由に「女性が少ない」、「仕事の
関係で」、「婿もらいだから」
などと答えていることから、い
ずれも町内在住の後継者と思わ
れ、嫁・婿不足の本町の世相が、

26％が結婚のさパートナー「不安」

女子に対しての質問で、東由
利町に嫁いでもいいと思うと答
えた人は一人で、「相手次第」
と、条件をつけた人が五七％の
十二人、嫁ぎたいと思わない人

「相手次第で嫁いでもいい」→57%

今後の町づくりに望むことで
最も多かったのは「観光開発や
レジャー施設の整備」で、半数
の五〇％が希望、次いで道路の
整備三〇％、産業の振興二八％、

半数が観光開発などを希望

が二四％の五人でした。嫁ぎた
くない理由についてはほとんど
回答をいただけませんでした。が、
一人だけ「いろいろな意味にお
いて狭い」と答えています。

まだ若き二十歳の世代にも反映
されていることが伺われます。
また、結婚相手を選ぶとき一
番大切なことについて、ほとん
どが愛情、性格と答え、容姿、
職業と答えた人が三人いました。
以上がアンケートの結果です
が、このデータをふまえながら
座談会を開きましたので、次の
ページで紹介します。

●成人式特集●

座談会から

ボンネも語らうぜ

町内居住の新成人五人にお集りをいただき、二、三ページで紹介した「新成人意識調査」に基づいて座談会を開きました。

この町の生れに 感謝

司会 八七割の方が東由利町に生れて良かったと思うと答えています。みなさんはこれについてどう思いますか。

畠山 ぼくの場合は、やはり恵まれた自然の中でのびのびと育つことができたことに感謝しています。

小松 私は仙台の大学にいますが、ふるさとという自分の帰れるところがあるというのは

仕事があればUターンも：

司会 アンケート結果で見るとUターン希望者も多いように感じ取れるのですが、みなさんはどう受け止めていますか。

木島 私は高校を出てすぐ県外に就職しましたが、一年もたないうちにホームシックに陥ったみたいでUターンしました。帰るところがあるという甘えもありましたけど、帰ってみると

すばらしいことで、この町に生れてよかったと思います。

伊東 都会のように人間関係にほとんど無関心の状態で生活しなければならぬのはいやですね。ここではみんなが親戚みたいな付き合いをして暮らせるし、そういう点でここで生れたことに對しても、またこれから生活していくことに對しても不満はありません。

仕事がなくていまさらながら自分の甘さに反省しています。でも、仕事があればUターンしたいと思っています。人はいるんじゃないでしょうか。

ていうようです。アンケートでは「仕方がなくて…」という人も多いようですが、仕事を求めるわけにもいかず、定住を決めているのが実情とも思われます。やはり、良い仕事があればUターンしたい人もいますね。

2、3年は都会で暮したい：



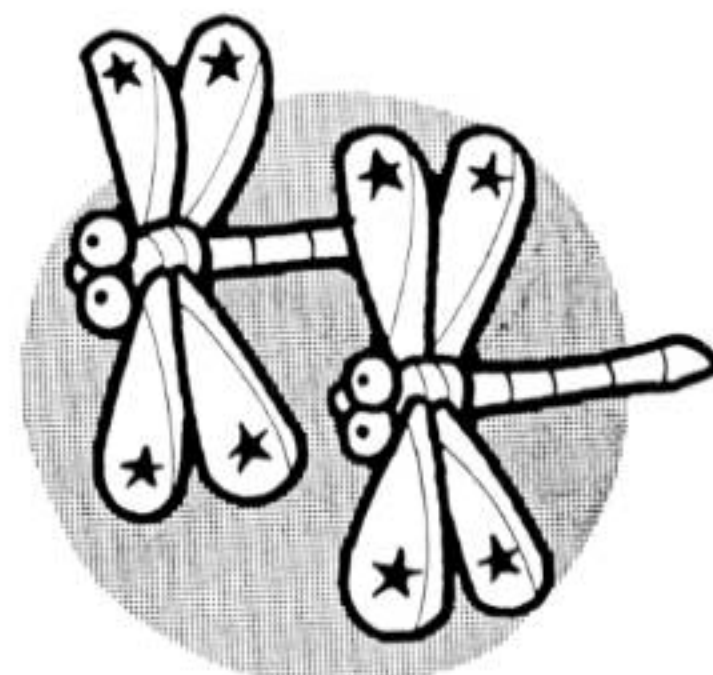
畠山 誠くん
秋田信英(株)勤務

司会 都会で働きたいと思ったことはありますか。

ら社会勉強のため都会で生活してみたいと思いますが、定住したいとは全然思いません。

司会 でも、暮しているうちに帰りたくなくなるのでは？

小松法子さん
宮城学院女子大生



世界一のジャンボ迷路を作って観光開発を：

畠山 ぼくは長男で、小さい頃から家の後継ぎを決めていましたから、いままでそういう意識を持ったことはありませんが、でも、高校時代箱根の伯父さんが経営するゴルフ場でバイトをしたときには、環境も良かったので、もう少し居たいなあと思いました。

長谷山 ぼくは二、三年だった

長谷山 観光というのは、お客さんを引き入れてできるだけお金をもうけさせてもらうことだと思いますが、そのためにはお客さんがくるための条件整備が

8月25日、喫茶「菩提樹」(上通)のミーティングルームで開いた座談会



必要であり、わが町にはまだそれがありません。でも、ありきたりの観光だったら人もこないで、わが町の場合、この緑の山と木々を利用して、世界一のジャンボ迷路を作るとか、都会向けにサバイバル基地を作るとか、そんな観光開発をして欲しいですね。

伊東 世界一のジャンボ迷路はいいですね。私もそうした他の町にないものがないと思います。岩城町なんかスベリ台で日本一ですからね。

島山 ぼくは成人式の意見発表でもいいましたが、八塩山・ダムを公園化し、アスレチックなど子供の遊び場、ダムに遊覧船とボート、釣り場、スキー場、ミニレストラン、宿泊施設などを作り、四季折々のイベントを

備でしたが、町の道路の現状をみなさんはどう思いますか。

長谷山 部分的に改良が進められているようですが、もっと一挙にやって欲しいですね。

小松 町のいたるところで改良が進められているようですが、私たちが小さい頃よりはかなり整備されてきてますし、町の努力は大いに認めたと思いますね。

伊東 よそに比べて狭い道路が多いんですけど、ほとんどくまなく舗装されてますし、国道もバイパス化が進んでますから、特別不便は感じませんね。

企画して欲しいと思います。そして、そこには国際化を反映させて外人を採用するとか……

木島 私はもっと日常的な面で、町民プールなんかを作って欲しいですね。

司会 要望の二番目は道路の整

婿もらいに、とても不安

司会 女子の半数以上は相手次第で町内に嫁いでもいいと答えています。今日出席のみなさ

長谷山和幸くん
東由利農協勤務



んはどうですか。

木島 私はいいい人がいたら嫁いでもいいと思っています。それに、将来的にみて自分の生れた町ですから、子育てなどいろいろな面でメリットも多いと思いますから……

小松 東由利は、人間性が豊かで、親戚のように付き合えるというところはいいんですが、何事においても狭さを感じられるの

で、町外に出ていろいろな人間と接してみたいと思います。そういうことから、今はこの町に嫁いでもいいとは思いません。

司会 今日出席の三人が後継者のようですが、やはり嫁・婿不足を意識しますか。

伊東 私はかなり不安を持っています。お嫁さんをもらうのより、お婿さんをもらうのは何倍も大変みたいです。今からとても心配してます。

島山 ぼくはまだ結婚は考えて



21世紀のイメージは？

ませんから、嫁不足は意識していません。でも、会社の中には嫁さんがいなくて困っている人がいっぱいいますね。

長谷山 ぼくもまだ意識していません。まずこれから五年くらいかけて自分に合った人をさがしたいと思っています。

司会 嫁不足解消のためフィリピンからお嫁さんを連れてきているところもありますが、どう思いますか。

島山 生活様式の違いを克服していくのは大変なことだと思いますね。

長谷山 絶対いやですね。もしここで嫁さんが見つからなかったら一生独身でいます。



木島ゆかりさん
家事手伝い

司会 最後に、もう十三年で二十一世紀に入り、みなさんは働き盛りの年代になっていますが、二十一世紀のイメージをそれぞれお聞かせください。

島山 農業の衰退です。農産物の自由化がますます深刻になり、農家の大小で貧富の差が激しくなると思います。

長谷山 コンピュータ社会です。コンピュータの氾濫で人間の就業場所が減り、失業者が増加して島山くんと同じく貧富の差が激しくなると思います。

伊東 高齢化社会です。具体的な状態はわかりませんが、お年寄りの数が増え、社会保障問題が深刻化すると思います。

小松 大学の先輩に生きていけなくなるというわけでしたが、私は特別大きく変わることはないと思います。

木島 私、今よりもっと便利になるくらいで、大きな変化はないと思います。

司会 どうもありがとうございました。(司会・広報係)



町民運動会のハイライト「つなひき」の決勝戦。写真の小倉チームは惜しくも蔵チームに2対1で敗れました。



第十九回町民運動会が好天に恵まれた八月二十三日、台山グラウンドで約二千人が参加して行われました。

自治会対抗の各種目には昨年より十チーム少ない三十二チームが参加し、つなひき、スウェーデンリレー、満杯リレーの競技に心地よい汗を流しました。

また、自由参加種目に今年は「ペア力自慢」、「動物リレー」が新登場し好評を得たほか、おなじみの親子三代リレーには孫・母・祖父・母を一組として三十三チームが出場、仲むつまじい家族ぶりを披露しました。

各種目の結果は次のとおりで、つなひきでは蔵が三年ぶりに優勝、総合で蔵が二年連続優勝を飾りました。(成績は三位まで。敬称略)

競技の結果

総合の部

①蔵 ②祝沢・茂沢及び新町
つなひき

①蔵 ②小倉 ③宮の前
スウェーデンリレー

①新町 ②大琴 ③蔵新田
ボール送り

①蔵 ②祝沢・茂沢 ③横渡
満杯リレー

①祝沢・茂沢 ②新町 ③蔵
分館対抗の部・四〇〇メートルリレー(女子30歳未満)

①蔵 ②法内 ③住吉
同(女子30歳以上)

①老方 ②蔵 ③玉米
同(男子30歳以上)

①老方 ②玉米 ③蔵
同(男子40歳以上)

①蔵 ②老方 ③宿
八〇〇メートルリレー(男子30歳未満)

①宿 ②玉米 ③老方

第19回 町民運動会

みんないい顔してますね



顔中「むぎのこ」だらけとなつての「アメリカ」競争には、ご婦人が殺到。



「ボーリング」には、東光苑の人居者も介護員にともなわれて参加。

すっかりおなじみの「スウェーデンリレー」では、20代がアンカーで走り、火花をちらしたレースが展開されました。



新登場の「ペア力自慢」には、夫婦など32組が参加。いきの合った6組が入賞しました。

親子三代リレー

- ①小野嘉吉、義雄、嘉史(中通)
- ②石渡栄治郎、豊和、仁久(岩館)
- ③遠藤儀市、富作、貴浩(祝沢)

一、〇〇〇メートル競争(男子)

- ①阿部 等(高瀬小)
- ②畠山和憲(同)
- ③佐藤直人(八塩小)

同(女子)

- ①柿崎竹美(高瀬小)
- ②遠藤智里(同)
- ③小松幸子(同)

一、五〇〇メートル競争

- ①小松和幸(東中)
- ②小松英明(同)
- ③小松幸生(同)

幅跳び(小学生の部)

- ①伊東信也(高瀬小)
- 同(中学生の部)

- ①高橋 剛
- ②小松圭司
- ③加藤 寿

砲丸投げ

- ①長谷山喜悦(石高)
- ②工藤真市(高村)
- ③小松芳雄(上通)

「円高」ニュースの毎日。

考えさせられることがある。いま、日本の経済は円高不況にあえいでいる。だが、円高ということとは、一面日本の経済が強いということ、ドル安ということは、アメリカ経済が弱くなったということである。

日本が輸出を抑えても、日本に支払われる金は円高により減らないし、輸入を増やしても支払い代金は減るということになる。日本を一つの会社になどえらるならば、売上額は減らないで

支払いが減るということになるから、非常に強い会社ということになる。経済専門家によると、一ドル百五十五円位で日本とアメリカの国民一人当りの所得が

いままで日本はアメリカの強大な経済力に支えられ、面倒見られて今日の日本経済ができあがってきたわけだが、この円高の計算からすると、日本より弱く

町長随想

円高で考えさせられること

肩を並べ、百四十円代まで円高が進むと一人当りの所得は日本がアメリカをかなり上回ってしまふ計算になるという。さて、そこで問題となるのは、

なりつつあるアメリカから、強くなった日本が未だに面倒見られていた点があるが、これがどうなるかという心配がある。たとえば、アメリカ国民の負担と

からもうなづけるところである。アメリカは、一九五〇年代では世界経済の半分近くを占めていたが、いまでは四〇割を割り三〇割をも割り込もうとしてい

る。二十一世紀に一体どうなるのか——いろいろ予測されているが、アメリカは世界経済の十八割台、日本は十二割台位だろうといわれている。そうすると、国際的な日本の役割負担はいままでのままでよいはずがない。円高問題など世界経済の厳しい渦の中で、いま農村は農産物の輸入をめぐる不安、米価の引き下げへの不安など厳しく揺れ動いている。ドルの安定、アメリカ経済の安定を強く願うこの頃である。



また…豪雨水田など襲う たて続けに3回警戒水位を70センチ超す

「もう雨はうんざり…」といった矢先の八月二十八日、この月三度目の豪雨が来襲、同二十八日午後一時の降り始めから約十四時間で通算九十一ミ、最大二十ミの雨量を記録し、昭和五十年の豪雨災害(雨量通算二百八十ミ)以来の大きな被害となりました。

被害状況は別記のとおりで、被害総額は現在調査中ですが、八月十六日、十七日及び二十一日の豪雨だけでも九千万円にのぼり、一億円は超すものと見えています。特に水田は河川が最高の水位に達した二十九日の早朝まで七千二百七十センチに冠水、収穫不能の水田も出るなど、農家に大きなショックを与えました。また、寺田、蔵、黒淵地区では住家六棟を含む



全町水田の67%をヘリコプターで一斉防除

全町航空防除を実施

水田の67%を一斉防除

いもち病や紋枯れ病など、稲の大敵を未然に防止しようと、このほど農業の空中散布が全町一斉に行われました。

これは、畠山町長を会長とする東由利町航空防除協議会が昨年に引き続き実施したのですが、昨年はとくにいもち病が多く見られる黒淵、田代地区の、百畝のみを対象、この効果を把握したうえで今年は本町水田の約六十七割にあたる六百二十畝を一斉に防除したものです。散布は出穂期と穂揃期の八月

四日と同十五日の二回、いずれも早朝午前五時からヘリコプター三機で行われ、初回は約五時間、二回目は約四時間の散布作業が行われました。

散布作業に立ち合った東由利農協の小松健常農相談係長は「初回は散布の確認と補正散布などで予定より大幅に遅れたが、二回目はほぼ予定どおり行うことができた。二回とも好天に恵まれ、防除効果は高かったと思う。航空防除は、共同防除や個人防除に比べ散布効率、防除効果が



給油・薬は健康増進センター駐車場などで…

町職員の人事異動

課長を主に14人が異動

九月一日付で町職員の人事異動(昇格含む)が次のとおり発令されました。(八月二十八日告示)

- 総務課・総括係長兼総務係長▽渡辺勝男(総務係長)
- 企画財政課・課長兼企画係長▽八嶋保(住民課長)
- 同・総括係長兼企画係長▽寅田敏雄(企画係長)
- 同・財政係▽小松英治(総務課総務係)
- 公営事業担当参事(水道事業・大平スキー場担当)▽小松与一郎(水道事業所長)
- 財政担当参事▽畠山正美(出納室総括係長)
- 税務課・課長兼地籍係長▽小松正昭(企画財政課長)
- 住民課・課長兼保険係長▽櫛野忠義(産業経済課長)
- 同・総括係長兼民生係長▽安倍秋雄(民生係長)
- 同・主査▽佐藤鉄雄(水道事業所技師)
- 産業経済課・課長兼農務係長▽中西蔵之助(税務課長)
- 同・総括係長兼林業係長▽遠藤信一(林業係長)
- 出納室・室長兼出納員▽阿部力(企画財政課参事)
- 同・主査▽柏原慶子(会計係)



床下に浸水した作業小屋（八月二十九日・下通小野政次さん所有）



崖崩れも3カ所で発生
（写真は8月17日・ボツメキ線）

八月十七日に続き、同二十九日床下に2回目の浸水があった寺田地区



豪雨発生日	8/16 ～8/17	8/21	8/28 ～8/29
・住家等の被害（棟）			
床上浸水	—	—	—
床下浸水	10	—	17
・道路、河川等の被害（カ所）			
農道	9	—	（調査中）
林道	2	—	
町道	1	—	
崖崩れ	3	—	
水ため池田	9	—	
冠水	1	—	（a）
うち（倒伏）	6	—	
（埋没）	5,470	145	
（収穫不能）	979	—	
	167	—	
	35	—	199
・被害額（%～%、%のみ）			
農産	2,964万円		
道路	200万円		
河川	620万円		
農地	86,360万円		
合計	90,144万円		

水田に浸入したごみを、水のはげぎわに除去する農家の方たち（八月二十九日・宿）



十七棟の住・非住家に浸水しましたが、幸い床上浸水はありませんでした。
町では、冠水で三〇割の減収が見込まれる被災水田に対し、減収を最少限にいくとめるための稲作管理指導にあたっているほか、被害を受けた道路、河川などの早期復旧に全力を尽くしています。
なお、河川の水位は二十九日午前六時十分、警戒水位を七十センチを超える三・七メートル（両前寺橋）を記録しました。
防災にあたった延べ二百五十人の消防団のみなさま、ご苦労様でした。

ごみ収集についてお願い

最近、ごみを収集日以外でも収集場所に放置している地区が見うけられます。特に、生ごみなどは放置しますとカラスなどにより散乱し、美観を損なうほか衛生上問題となります。ごみは、決められた

日の決められた時間に出すと共に、燃える物と燃えない物を必ず区別して出してください。
なお、粗大ごみは九月十七日、十八日に収集しますので、収集を希望する方は九月七日まで役場衛生係にご連絡ください。

町出身の 高橋宏幸氏の 代表作（チロヌップ）がアニメ映画に

絵本作家として活躍している本町出身の高橋宏幸氏（東京都田無市本町・64歳）の代表作「チロヌップのきつね」（金の星社・刊）が、このほどカラーの長編アニメーション映画（一時間二十分）になりました。

高橋氏は上通出身で、旧老方小学校、旧秋田中、旧秋田鉾専を卒業後、太平洋戦争で千島のウルップ島へ。終戦後、

小峰書店取締役編集長、ハチ・プロダクション代表取締役を経て児童文学絵本作家になったものです。

「チロヌップのきつね」は、高橋氏のウルップ島での悲しい体験を基に、北の果ての島に生きる野生のきつね親子の愛情の強さを描いた絵本で、昭和四十七年に出版、小学校の教科書にも採用されているほか、海外七カ国でも出版されています。

高橋宏幸氏



同映画は八月十五日から二週間、名画座ミラノ（東京・新宿）でロードショーされ、現在は親子映画の会を通して全国を巡回で上映中です。秋田県での上映は現在未定ですが、来年の暮れにはテレビでも放映されることが決まっています。



まちの話題

居ながらにして「お祭り」を満喫

東光苑で「第2回夏まつり納涼祭」開催

ホールいっぱい詰めかけた観客



2回目を迎えた東光苑の年中行事「夏まつり納涼祭」が、8月5日に行われました。当日は、あいにくの雨で予定されていた花火上げや盆踊りは中止となり、室内での腕相撲大会やスイカ割り、演芸会だけとなりましたが、メインプログラムの「演芸会」には一般の観客が会場のホールに入りきれないほど詰めかけ、老人クラブ芸能部、コーラスグループ「コスモス」、八塩芸能倶楽部などの熱演に釘付けとなっていました。また、金魚すくいや水ヨーヨーなど、夏祭りの風物である「出店」も各種設けられるなど、入居者は居ながらにして「お祭り」気分を満喫。詰めかけた一般の観客も一足早くお盆気分を味わっていました。



小野長光氏

町農業委員会では七月二十八日有鄰館で総会を開き、先に急逝された小松哲夫前会長の後任に、これまで同職務代理者を務めてきた小野長光氏(61歳・宿)を互選すると共に、同職務代理者に遠藤平輔氏(57歳・小倉)を互選しました。

新農業委員会長に小野長光氏就任

「みなさんのご支援をお願いします」

会長に互選された小野氏は、昭和五十一年に農業委員に就任、同六十年から職務代理者として活躍しており、「減反、農産物の輸入自由化など依然として

厳しい農業情勢下、会長の職は重過ぎるが、地域農業の発展のため鋭意努力していきたい。みなさんのご支援をよろしく願います」と話していました。

畑山氏の後任には小松勘太氏

由利農業共済組合推せん農業委員である畑山清一氏が、同組合理事の任期満了に伴い農業委員を退任、後任に新しく由利農業共済組合の理事となられた小松勘太氏(51歳・須郷田)が六月一日付で選任されました。



小松勘太氏

野球狂が2年連続6度目の優勝

第29回社会人野球大会

第29回町社会人野球大会が8月16日と、雨で順延後の19・20日の3日間台山・町民の両グラウンドで行われ、19チームが熱戦を展開しました。決勝には2年連続優勝を狙う野球狂と、同朝野球大会に続き今季2度目の優勝を狙うパワーズが進出、7回表まで2対1とパワーズが勝ち越していましたが、野球狂が最終回に劇的な逆転サヨナラ安打を放ち、2年連続6度目の優勝を飾りました。

最高殊勲選手賞は小野進(野)に、敢闘選手賞は小野昭美(野)、佐藤君栄(パ)、高橋正(パ)、梅津正明(モンスターズ)、小野光之(蔵ロイズ)に贈られました(敬称略)。



優勝した野球狂チーム

42チームのトップに寺田チーム

第1回全町ゲートボール大会



42チームが参加した全町ゲートボール大会

第1回全町ゲートボール大会が8月2日台山グラウンドで開かれ、自治会を単位とした42チームが出場、日頃の練習の成果を出し切り白熱したプレーが展開されました。競技の結果は、雨天以外毎日練習に励んだという寺田チームが優勝、練習量ではひけを取らなかった袖山チームが準優勝を飾りました。

千五百匹の鯉が放流された
老方前堤



大日向さんの善意で 老方「前堤」に 大量の鯉を放流

町の発明家としてなじみの深い大日向貞弘さん（大琴）が、整備が済んだ老方前堤に鑑賞用など大小合わせて約千五百匹の鯉を放流、地域の大きな話題となっています。

大日向さんは、「せっかく町が整備してくれたのだから、あとは、地域の人々で維持していくことが大切。鯉は大きくならなければ釣り大会を開催するなどして、より親しめる公園にして欲しい」と話し、当分はエサも自己負担で与えることにしています。

かんがい用として前堤を利用している方たちの代表高橋源一さん（下通）は、「かんがい用の前堤も今ではりっぱに公園化した。しかも、鯉の放流でより親しまれることをうれしく思う」と、大日向さんの善意を喜んでいました。

自慢は手作り絵燈ろう

蔵新田子供会
恒例の花火大会



絵燈ろうが自慢の「花火大会」

蔵新田子供会恒例の「花火大会」が、お盆の8月13日太田千代三さん宅の前で行われました。この花火大会は今年で16回目を数えるもので、「絵燈ろう」が飾られたり、かき氷や水ヨーヨーがプレゼントされたりと、単なる花火大会とは一味違った、子供たちの年に一度の楽しいお祭りとなっています。なかでも「絵燈ろう」は子供たちの苦心作で、絵も創意と工夫に満ちた自慢のものばかり。また今年は、昔から田植えに利用されてきた「型」を使ったものもでるなど、一段と見栄えのする花火大会となりました。

みなさんの地域の、話題、出来事などお知らせください。必ず取材にでかけます。めずらしいことやおもしろいことは新聞やテレビに紹介します。（広報係）

学校農園のスイカが大豊作

大琴小で東光苑などにプレゼント

今年は農作物が豊作のようですが、ここ大琴小学校でも「学校農園」のスイカが大豊作で、児童たちが一つ一つ数えたところ全部で2百60個もありました。これは、一本の苗から4～5個のスイカがとれたことになり、同校では「とても食べきれない」と、お盆前に東光苑や地域の人たちに少しずつプレゼント、「とてもおいしい」と喜ばれました。

とくに、東光苑には4年生全員が出向いて20個のスイカをプレゼントしたほか、作文の朗読や握手などとして入居者を励まし、「今度は、秋に3年生がさつまいもを持ってきます」と約束、入居者から大きな感謝の拍手を受けていました。



東光苑に20個のスイカをプレゼントする大琴小4年生

用件は
正しくあわてず 119番
9月9日は「救急の日」



- 救急車を呼ぶときの3つのポイント●
- 1、救急事故などの発生場所と近くの目標
- 2、どのようなケガか病気が
- 3、ケガ人や病人の現在の容態（簡単に）

奥羽大会2年連続出場、そして準決勝進出は、生徒数72人というごく小規模の同校としては、まれまれの快挙であり、選手諸君の大健闘を町民みんなで心から賞賛したいと思います。



7回、スクイズで逆点の一場面（対弘前工業高校戦）

下郷分校健児が大健闘 全国高校野球選手権奥羽大会に2年連続出場

7月30日から秋田市の県立球場で行われた第32回全国高校軟式野球選手権奥羽大会に、県代表として2年連続で出場した本荘高校下郷分校は、初戦岩手県代表の盛岡商業高校と対戦、主将でエースの伊東隆くんが投・打ともに大活躍し、2対0で快勝、翌日の準決勝に進出しました。

準決勝では青森県代表の弘前工業高校と対戦し、1対0とリードされた7回に高橋進くんの2塁打とスクイズで4対1と逆点、しかし、雨で中断後、7回裏、四球、長打、犠飛などで4点を失い、5対4で惜敗しました。

奥羽大会2年連続出場、そして準決勝進出は、生徒数72人というごく小規模の同校としては、まれまれの快挙であり、選手諸君の大健闘を町民みんなで心から賞賛したいと思います。

みんなのひろばは、みなさんに登場していただくページです。
ヤングレポート、われら農業人、お母さんの生活日記、お
達者くらぶなど、自薦、他薦でも結構ですので、広報係まで
お知らせください。

「町民になりました よろしく」

大場里美さん
(山崎・23歳)



「二人っ子でしたが、
隆さんの人柄に惚れ…」
「地域の人たちが大歓迎して
くれました。みんな心の暖かい
人たちばかりですね」と、東由
利町に嫁いだことを喜んでくれ
る里美さん。今年六月、本荘市
から山崎の大場隆さんに嫁ぎ町
民になりました。
羽後交通のバスガイドをして
いた里美さんは、隆さんとは同
じバスガイドの隆さんの妹の紹

介で知り合い、「二人っ子でし
たが両親が隆さんの人柄に惚れ、
結婚を認めてくれたんです」と
話し、また「家族がみな明るく
て、お父さんもお母さんも実の
むすめのようにかわいがってく
れています」と、うれしそうに話
してくれました。
バスガイドをしていたことも
あって、ノドはプロなみ。そし
て、家族もみな歌好き。どうぞ
歌声のたえない、明るく円満な
家庭を築いてください。

みんなの ひろば



絵・こせきいくみさん
6さい・えいけい保育園

わたしのおかあさん

ちびっこの国め



— テーマ —
「ぼくが町長に
なったら」

畑山真太郎くん
大琴小・4年

ぼくが町長になったら、いろいろな
せつびがととのった大きな町にしたい
です。ぼくは野球が大好きなので、ナ
イターもできる大きなキュウジョウを
つくりたいです。町の人たちも泳げる
ようなプールをつくりたいです。

ぼくのお父さんとお母さんは秋田信
英につとめています。あんな大きな会
社をもっとふやして、みんなのおじい
さんやお父さんが出かせぎに行かなく
てもいいようにしたいです。

ぼくの寺田のおばあちゃん是一人ぐ
らしをしています。さみしくしている
おじいちゃんやおばあちゃんたちのた
めに大きなおふろや、きれいな花がい
っぱいあるいこいの家をつくって楽し
くみんな明るくけんこうな町にしたい
です。

われら 農業人

⑤

石渡豊和さん
(37歳・岩館)



試験栽培中のマイタケを手に石渡さん

マイ タケを 米に次ぐ作物に！

「作物は努力に必ず応えてく
れる。農業の魅力はそこにある
と思う」と話す石渡さんは水田
三・一診と、ナメコ、京フキな
どのほか、繁殖牛二頭を飼育す
る専業農家で、二年前から原木
によるマイタケの試験栽培も開
始、成功の目途がついたため来
年から本格的な栽培に入ること
にしています。

石渡さんはこれまで良質米の
多収穫のため、町の「稲作研究
会」を通して栽培技術を修得、
現在手持ちの水田全部にササニ
シキ、あきたこまちの良質米を
作付けし、十ア当たり十一俵の多
収穫を実現させています。
「良質米の多収穫は、キヨニ
シキなどの普通米と比べ十ア当
り二俵分の収入格差がある。管
理の徹底など、努力は怠れない
が、その努力以上の収入増は十
分に期待できる」と、淡々とし
た口調で話していました。



横小路
小松エミ子さん

「あかあさん」生活日記

(28)

遊具施設完成に一言

高瀬小にこのほど素晴らしい遊具施設が出来ました。この完成にあたり作業に携わったPTA会員として一言。
作業の初日は運悪くどしゃぶりの雨で、下着までずぶぬれになりながら皆の顔も必至でした。慣れない作業で大変でしたが、「お尻がくぐらないからもつと

広げてくれ」といえば、「母さんみたいでつかい尻の子供はいないから大丈夫」など、ふだん話しをすることのない人々と苦笑する会話も飛び出し、楽しく作業ができました。
七月に研修旅行で千畑町の南小を見学しましたが、それはほとんど鉄で作られた遊具で、ひんやりとした心の通わぬ冷たさがありました。それに比べると、わが高瀬小の遊具は何と違って木目のぬくもりがあります。子供が「ぼくたちのため、仕事を休んでまで一生懸命に作ってく

れたんだね。お父さんやお母さんが働けなくなったとき、今度はぼくたちが何かを作ってあげるからね」と話してくれました。
遊具施設が立派に出来上がったのも、ひとえに諸先生方が子供の教育に情熱を注ぎ、献身的なまでにご指導くださった姿を拝見した私たちPTAが、それに感動し立ち上がったからです。子供たちも、こうした大人の姿を見て、きつと勉強に、スポーツに励んでくれるものと念じているこの頃です。



阿部勝幸くん・横 渡
20歳・勝治さん長男

ヤングレポート

(40)

「他人ごとのように思われた成人式も、いよいよわが身に押し寄せ、責任と不安の毎日が続くようになった。『成人おめでとう』といわれるごとに、ああこれから大変だ、責任があるぞしつかりしろ、と自分にいい聞かせている」——これは、「成人記念文集」に寄せた勝幸くん

の書き出しの文章です。成人を自覚し、社会人としての意欲が同われます。現在、(株)トーホクに勤め、「毎日、仕事が楽しい」と、張り切って仕事に精を出しています。

「一見ネクラのようですが、とても明るくやさしい男です」という勝幸くんは、最近、夢にまで見た高級車「日産セドリック」を購入、もっぱらその手入に余念がありません。「今はとても充実しています。しかし、これからは、職場で、家庭で、いろいろな難題に直面すると思います。しかし、くよくよせず、モットーとして『笑顔を絶やさないで』生きていきたいと思っています」と、歯切れの良い声で話してくれました。

髪が長くて、ポッチャリとした女性が理想のタイプで、結婚は二十五歳になったら……という、町のヤング勝幸くんでした。

お達者くらぶ

—おじゃまします—
生 寿 会

今回おじゃましたのは法内地区の老人クラブ「生寿会」です。会長の遠藤松蔵さんは同会の自慢を、「克雪センターの花壇の手入れや周囲の除草、地区体育館の清掃など、奉仕活動にはみんなが参加してくれること」と話しています。他の老人クラブに負けずと、ゲートボールが盛んですが、自分たちで手入れはしているもののグラウンドのコンディションが今一つ悪く、遠藤会長は「町にぜひ整備をお願いしたい」と話していました。また、同地区内で交通死亡事故が発生したこともあり、行事や催しがあるたびに『子供と老人の交通安全』を呼びかけています。

米を主としながら、十年前からはナメコの栽培に取り組み、今年も千五百箱のナメコが順調に成育しています。また、町が転作物として目を付けている京フキにいち早く取り組み、今年も四アに栽培、今月中旬には二回目の収穫が始まります。そして、石渡さんが手がけたもう一つの作物が、原木栽培の

マイタケで、試験栽培のマイタケが現在順調に成育しており、今秋出荷ができるという事です。おがくず栽培のマイタケは市場に氾濫しているものの、原木栽培のものは県内でも少なく、市場での人気も期待されます。石渡さんは、このマイタケを稲作に次ぐ作物にと、規模拡大に大きな意欲を見せていました。





37

思いがけない ドライブに 故郷を満喫



相川マサさん

このたびの帰省に、兄のすすめで「ふるさと交流」に参加いたしました。

午前中は親子四人で釣り大会に。あまり収穫はありませんでしたが、それでも、釣れるたびに歓声をあげ楽しいひとときとなりました。

午後は私が一番楽しみにしておりました町内巡りです。

まず、強く印象に残ったことは、広く立派に整備された道路です。ガイドさんの説明にもありましたが、数年前までは自転車さえも走れなかった道が、いまバスに乗って走りながら見学している。ほ

郷土芸能の獅子頭に珍しそうに触れる帰省客



「やっぱりふるさとにはええな」

「第三回ふるさと交流」が八月十五日に行われ、お盆の帰省客など五十人が参加、魚釣りや町内めぐり、郷土芸能の観賞な

どのほか、「ふるさと広場」で宮の前出身の畑山一風さんとその一行の民謡を聞きながら、郷土料理に舌つづみを打ちまし

た。今月の「ふるさとへのたいり」には、ふるさと交流に参加した三人の方からお便りをいただきましたのでご紹介します。

んとうに町のみなさまの努力が恩ばれ、感激いたしました。また、これまで行ったことのない集落、遠い親戚のいる集落、『ここにはたしか同級生の家が』と、思いをめぐらしたり。そして、春には桜が咲き乱れ、花見客でいっぱいになるという八塩ダム

等々。さわやかで、おいしい空気が水。連なる山々と青い空。——思いがけぬドライブに故郷を満喫しました。

都会の雑踏の中で生きる私たちの心のよりどころである故郷の、今後益々のご発展を心からお祈りし、お礼いたします。

神奈川 藤沢市本鵠沼 相川 マサ

阿部 光男

より自然に親しめ ふれあいのもてる 企画にも……



阿部光男さん

「ふるさと交流」に初めて参加させていただき、良い思い出に、家族皆とても感謝しております。

故郷を後に、「金のたまご」などと言われ集団就職した頃から二十七年。現在私は、所

沢の片隅で家族五人幸福に暮らしていますが、なかなか故郷に帰る機会がなく、久々の帰省で「ふるさと交流」に参加することができ、魚釣りなど、私のみならず子供たちにも私共の幼少の頃の体験を体で感じ取ってもらえたことを喜んでいきます。ただ、欲をいえば、小さな沢や池などでの捕み取りなど、より自然に親しみふれあえる企画があればもっと良かったと思います。

好天に恵まれ、また、町長さんや議長さんにもお盆のお忙しい中ご出席をいただき、しかも数々の美味しい料理に最高の気分でした。私たち家族にとって、六十二年の八月十五日は忘れることのできない一日となりました。



跡見坂の堤で行われた魚釣り大会

帰省するたびに 発展している 故郷の姿に感動

残暑お見舞い申し上げます。早いもので私も都会生活三十数年となり、ふるさと東由

保健婦の さわやか ヘルスイーク

見つめてますか 老後の生き方

保健婦・小松友子

残暑の中にも秋風が感じられる今日この頃です。

さて、もしも家族の誰かボケたらどうするか、あるいはどうなるかなどと考えてみたことがあるでしょうか？ それとも全くあり得ないことと考えるでしょうか？

痴呆性老人対策事業のモデル市町村として県より指定を受け、実際そのような老人の方や家族の方々と情報交換をするようになったのはつい最近のこと。(窓口は民生係)

ほんのメスを入れたばかりの段階ですが、一言では言いあらわせない家族の溜息とも悲鳴ともつかない叫びが聞こえてきそうです。反面には右往左往しているうちに勘所をつかみ、どうにか家庭崩壊には至らず頑張り通している家庭など、教えられることの多いのに驚かされます。

豊かな老後を迎えたいとは誰もが願うことです。しかし、美しく老いるには若い時から自分自身の生き方を見つめ将来の展望を絶えず持ち続けることが必要のように思えます。まさに激動の時代の今日だからこそ老後の生き方が強く問われるのではないのでしょうか。

県の情報公開制度が スタートします

秋田県公文書公開条例が十月一日から実施されます。この情報公開制度は、より開かれた県政をめざし、県政に対する県民の理解と信頼をさらに深めてもらうためのものです。

この制度の実施により、県民の皆さんからの公開請求に応じて、県の機関で持っている公文書を閲覧したり、写しの交付を受けたりすることが出来ます。ただ、個人のプライバシーを侵害したり、公益を損なうようなものなどは公開しないことがあります。



利「への懐かしみが一段と強く感じられるこの頃となりました。今では年に一度の帰省を何よりの楽しみに、「ふるさと交流」にも欠かさず参加させていただいております。見るものすべてが新発見で、道路、交通など、帰省の度に発展している町の姿に深く感動しております。



大河原喜美子さん

「ふるさと交流」に参加しなければ見ることのできない様々な施設、郷土芸能、そして故郷のグルメの数々。意外に参加が少なかったようでしたが、次回には是非多くの方が参加し、楽しんでほしいものです。

そして、「グリーン東由利自然の会」の故郷の味は本当に新鮮で、とてもおいしく味わわせていただいていることに感謝しております。次回の「旬の味」を心待ちにしております。

これからの故郷のますますのご発展をお祈りし、お礼方々末筆ながら筆をおきます。

東京都北区桐ヶ丘一の二
E二九一三〇三
大河原 喜美子

二情報コーナー

「豊かな心を育てる 東由利町交流会」開催

町教育委員会では、感動する

でご利用ください。
☎〇一八八・六〇一・〇五八
六〇一・一四五〇

コスモス他)などです。一般の方もぜひ参加してください。
日時 九月七日(月)午後一時三十分より三時三十分まで
会場 東由利中体育館



会、民友会、三味線同好会、恵
扇会、四ツ葉会、つぼみの会、
町踊りの会、由利の会東由利支
部の友情出演もありますので多
数ご来場ください。
日時 九月十三日(日)午後
一時開演
会場 健康増進センター

「チャリティ・民謡の 祭典」開催

東由利町民謡同好会では、創立十五周年を記念して標記発表会を開催します。芸寿会、藤美

シルバーフェスティ バルの参加者募集



「第二回シルバーフェスティバル、秋田」が、県社会福祉会館などを会場に、九月十五・二十三日まで開かれます。
このため、同実行委員会では「シルバークラッシュ」や「秋田国際シルバーマラソン大会」の参加者を募集していますので、希望者はぜひ応募ください。詳しい資料は、町公民館にありますのでご覧ください。



としひら 小番稔平ちゃん

家の下・8か月

まさひろ
正裕さんと
睦美さんの長男
むつみ

戸籍だより

(7/21～8/20届出・敬称略)

お誕生
おめでとう

- 7/16 佐々木将大(善博・永峰・長男)大 琴
7/26 小松 広絵(博・二女)板 戸
7/26 遠藤菜見子(直樹・長女)蔵新田
7/26 小松裕太郎(俊太郎・長男)中 通
7/26 佐藤 秀孝(秀夫・長男)新 町
7/26 高橋 哲也(伸子・長男)須 郷

ご結婚
おめでとう

- 7/21 小野 誠(高 屋 佐藤 浩美)由利町
7/29 畑山 悦也(館合新田 小笠原千江子)土場沢

ごめい福を
お祈りします

- 7/26 高橋ハルヲ(85 慶一・母)下 通

編集室から

▶今月の特集記事は、「敬老の日特集」にしようか、「成人式特集」にしようか悩んだあげくの結果ですが、しかし前者は高齢人口が著しく増加している本町では非常に大きな問題であり、私たち町民が真剣に考えなければならぬことです。単に“敬老おめでとう”ではなく、10年後、20年後に町の高齢人口はどうなっていくのか、老齢年金や老人福祉関係予算はどうなっていくのか、そして、お年寄りに望まれるのは何か…。今回、データや時間の関係で特集を企画できませんでしたが、9月15日～21日の老人福祉週間にちなみ、ぜひ街角の話題にしていきたいと思います。

- 3日・町連合PTA研究集会
(有隣館10時～)
3日・不用犬捕獲日(※2日正午まで衛生係へ連絡のこと)
7日・豊かな心を育てる東由利町交流会(東中体育館13時)

催し

●「広報ひがしゆり」送付の謝礼として、黒沢出身の小松正蔵さん(北海道釧路市)から二万円が届けられました。
ありがとうございます。

善意

町民の声を町政に！
町長面会日 今月19日

- 12日・郡市民俗芸能交流発表会(健康増進センター10時～)
13日・チャリティ民謡の祭典(健康増進センター13時開演)
17日・秋の清掃週間(23日は清掃指導日)
17日・粗大ごみ収集日
21日・交通安全町民大会
21日・献血
24日・機能訓練教室(東光苑)

郷土の野草



クサノオウ (ケシ科)

③〇

町内の原野、路傍等に普通に見られる越年草(二年草)で、茎は中空、葉は羽状で対生し、ダイコンの葉に少し似ています。初夏に四弁の黄色の小花をつけ、茎や葉を切ると黄褐色の汁が出ます。花後、さく果(ホウセンカのような実)をつけます。このクサノオウのクサは“カサ”のことで、私たちが小さい頃は、土いじりをして遊ぶことが多く、手足も汚れていたため俗にいう“カサカキ”といわれる皮膚病の人もありました。このカサに、この黄褐色の汁をつけるとよい、ということからつけられた名で、生の汁の外、乾燥させた全草50gを煎じ、その汁で患部を洗ってもなおるといわれます。

この草は、この和名のほか、タムシグサ、ヒゼングサなどともいわれます。アルカロイドが主成分ですが、これには鎮痛、麻酔などの作用があるといわれます。(小松忠正)

町の三統計 8月 (7/1～7/31)

- 人口()は前月比 ()は1月から累計
・男 2,990人(△4) ●出生6人(33)
・女 3,098人(△2) ●死亡4人(30)
・計 6,088人(△6) ●転入3人(67)
●世帯数 ●転出8人(117)
1,453世帯(△5) ●結婚2人(11)
●離婚一人(1)

- 火災発生件数----- 0件(2)
●救急車出動件数--- 5件(50)
●ゴミ処理量----- 37t (247)
●健康増進センター利用者数 904人(3,659)
●町営テニスコート利用者数 714人(1,573)
●有隣館利用者数--- 1,092人(8,092)
●朋楽荘利用者数--- 491人(4,273)
●交通事故発生件数 0件(7)
・死者----- 0人(0)
・傷者----- 0人(9)
●飲酒運転違反者--- 0人(2)